



シルバー人材センターシンボルマーク

このマークは、全国のシルバー人材センターで働く高齢者が広く連携し、共に働き、共に助け合っていくことをめざして作成したものです。

デザインは、シルバー（Silver）の「S」とセンター（Center）の「C」で飛翔する鳥と、動き出す人の姿を表現しています。

# シルバー安曇野

第54号

平成29年1月1日

発行

公益社団法人

安曇野シルバー人材センター

住所

安曇野市豊科4155-1

TEL 0263-72-5800

FAX 0263-73-6484



雪化粧の拾ヶ堰

## 新年のご挨拶

理事長 佐々木 胤明



新年明けましておめでとうござい  
ます。

会員の皆様には、平成29年の新春  
を、お健やかに迎えのことに、心  
よりお喜び申し上げます。

安曇野市、ならびに地域の皆様におかれましては、シ  
ルバー人材センターの事業に、ご支援とご理解をいただ  
き、感謝しお礼申し上げます。

昨年は九州、東北、北海道地方に台風が相次ぎ上陸し、  
又、松本、安曇野地方には、台風18号から変わった温帯  
低気圧の影響により、各地強風に見舞われ収穫期を迎え  
たりんごが多数落下し、倒木も相次ぎ、果樹被害額は3  
億円を超える見通しであると報じられています。

今年も「安全は全てに優先する」を基本に「怪我をし  
ない させない」を合言葉に、全員で取り組み地域の皆  
様の信頼を得るよう努め、健康に留意していただき、無  
事故で安全な就業をお願いします。

新年に当り、安曇野市の発展と、会員並びにご家族の  
皆様のご多幸とご健勝をお祈りし、挨拶とさせていただきます。



# 新年のご挨拶

安曇野市長 宮澤 宗弘

明けましておめでとうござい  
ます。皆様方には希望に満ちた  
新春を健やかに迎えのことと  
心からお喜び申し上げます。旧  
年中は佐々木理事長様をはじめ  
安曇野シルバー人材センター会  
員の皆様には、市政全般にわた  
り格別のご理解とご協力を賜  
り、厚く御礼を申し上げます。  
貴センターの活動は、就業を  
通じて地域の活性化や福祉の向  
上に寄与されており、高齢者の  
健康維持や社会参加の促進等、  
市が掲げる「健康長寿のまちづ  
くり」に大いに貢献をいただ  
いておりますことに深く感謝を  
申し上げます。

毎年多くの仕事、市民や企  
業から寄せられておりますこと  
は、会員の皆様への期待と信頼  
の表れであり、何事にも代えが  
たい誇りであると存じます。  
少子高齢化が急速に進む今日

において、高齢者が生きがい  
を持ちいつまでも健康で生き生き  
と自立した生活が送れるよう、  
高齢者社会を支える中核的な組  
織として、シルバー人材センタ  
ーの担っていただく役割は一層  
重要なものとなっております。  
市といたしましては会員の皆  
様が長年培ってこられた確かな  
知識、経験、技能を生かし、社  
会を支える一員として活躍でき  
ますよう、健康長寿と活力ある  
まちづくりの一環として、今後  
ともシルバー人材センターの運  
営を支援して参りたいと考えて  
おります。

結びに、安曇野シルバー人材  
センターの益々のご発展と平成  
29年が会員の皆様にとって、健  
やかで実り多い一年であります  
ことをご祈念申し上げます、年頭の  
ご挨拶いたします。

明けましておめでとうござい  
ます

本年もよろしく  
お願いいたします

今年も、親切・丁寧な仕事で  
信頼を高めましょう  
みんなで、安全確認 事故ゼロを  
目指しましょう

事 務 局	監 事	副 理 事	専 務 理 事	理 事 長
職 員	深 田 一 雄	山 田 義 明	野 本 岳 洋	飯 沼 常 雄
	小 林 治 也	嶋 崎 紘 次	那 須 野 卯 久	佐 々 木 胤 明

## 役職員視察研修に参加して

理事 那須野 卯久

10月27日に安曇野シルバー人材  
センターの役職員視察研修が行わ  
れ、参加させて頂きました。

今回は、佐久シルバー人材セン  
ターにお伺いし、研修しました。  
佐久シルバーは、全国的にも素晴  
らしい業績を残しており、昨年度  
も契約金額、受注件数、会員数と  
も、過去最高の実績とのこと。  
研修では、佐久シルバーの概要説  
明及び当シルバーからの質問事項に  
ついての説明を受け、その後には質  
疑応答・意見交換を行いました。  
佐久シルバーの構成市町（佐久  
市・佐久穂町・小海町）は、大変  
広範囲で、一本所三支所で運営さ  
れています。

また、佐久シルバーは、平成27  
年度末の会員数は、1385人、  
契約金額は7億1619万8千円  
で26年度と比較し、101.2%  
とのこと。

研修事項の中で、私が一番教え  
ていただきたい事項の「会員募集」  
の方法について伺うと、一つには、  
各地域でのイベントに積極的に参

加して、会員募集の広報活動をす  
るそうです。また、会報を全地域  
の全世帯に配布しており、行政も  
配布に協力してくれるそうです。

私達の地域も高齢化が進み、草  
取り・草刈り・剪定等の作業依頼も  
増加傾向に有ります。従って、も  
っと多くの会員が必要になってき  
ます。また、現会員の就業する機  
会を増やす工夫も必要と思えます。  
今回の研修に参加して、私が記  
憶に残ったことは、佐久シルバーの会  
員の皆さんが、各地のイベント等  
に積極的に参加して、地域の皆さ  
んに元気を与えていることです。

佐久シ  
ルバーの  
皆さんに  
は、大変  
お世話に  
なり、あ  
りがとう  
ございま  
した。



## 前年度を上回る契約額

平成28年度 事業実績（4月～11月）

4月から11月までの契約額の実  
績は、4億4057万円、対  
前年度比103.4%と、金額で  
1463万円の増加となりました。  
これは、景気の緩やかな回復  
傾向を反映し、民間企業等では人  
手不足となり、当センターへの就  
業依頼も増加していることが、背  
景に有ると思われれます。

なお、会員数については、「会  
員募集チラシ」の全世帯への配布  
や会員自ら新会員を紹介する活動  
の実施等の会員募集活動を行っ  
た結果、前年度に比べ15人増の  
933人となりました。

今後も、会員の皆様のご協力を  
いただきながら、会員の増加と就  
業の機会の確保を図っていきま  
すので、一層の支援をお願いします。  
また、シルバー派遣事業や9月に  
厚生労働省から示された「適正就  
業ガイドライン」に沿った業務  
運営の推進を図ってまいりますの  
で、ご理解ご協力をお願いします。

### 11月までの事業実績

区 分	平成 28 年度 (11 月末)	平成 27 年度 (11 月末)	増 減	対前年比
会員数	933 人	918 人	15 人	101.6%
受注件数	3,776 件	3,900 件	△ 124 件	96.8%
契約金額	44,057 万円	42,594 万円	1,463 万円	103.4%
内 訳				
公共	6,964 万円	7,100 万円	△ 136 万円	98.1%
民間事業所	28,556 万円	26,213 万円	2,343 万円	108.9%
一般家庭	8,537 万円	9,281 万円	△ 744 万円	92.0%

# ボランティアに参加して

10月はシルバー人材センターの事業普及啓発促進月間です。これに合わせ、今年度もそれぞれの地域でボランティア活動が行われました。

- 10月3日三郷福祉センター
- 10月8日社協堀金支所・常念荘
- 10月12日穂高会館
- 10月12日明科龍門淵公園
- 10月20日県立子ども病院

今年延べ143名の会員に参加していただき、2時間ほどでありましたが、心地よい作業が出来ました。また、それぞれの事業所の皆様からもお礼のご言葉をいただきました。

シルバー人材センターの普及啓発を行う大切な事業であり、今後も続けていく事業であります。大勢の皆さんの参加をお願いします。

## 子ども病院の清掃に参加して



豊科地区 竹岡 孝子  
シルバー人材センターの担当者から連絡があり、子ども病院の清掃を行

うことにもあろうかと思いましたが、黙々と静かに、清掃活動を行う、二時間程の作業でした。改めて、きれいになった庭を見渡し、大勢の人の力のすごさを感じ、背中に秋の日差しを一杯受けて帰路につきました。

最初に理事及び病院関係者の挨拶があり、早速作業に取りかかりました。雑草を取る人、ごみを片付ける人、樹木の小枝を整える人などに分かれて、子ども病院とい

るようになれないかと思えます。今後も体の続く限り参加したいと思えます。

## シルバーボランティア活動

堀金地区 松田 清志



常念荘周囲の除草・草刈り・清掃等、日頃お世話になっている地域へ

の感謝の気持ちを込めて、多くの会員の皆さんの参加により取り組みが行われました。

作業開始に先立ち、9月12日にご逝去された、理事の故浅川泰通様に参加者で黙祷を捧げ、その後環境整備の作業に入りました。日頃は会員の皆さん、それぞれの就業先で仕事についているため、顔を合わせることも少なく、初めてお会いする方もおりましたが、この活動に参加したことにより、会員の皆さんを知ることができ、又、会員同士の連帯感も生まれたのではないのでしょうか。こういう活動を通して、地域の皆さんにシ

## ボランティア活動に参加して



穂高地区 深石 武雄  
毎年10月の啓発促進月間に併せて実施しているボランティア活動が

ルバー人材センターの存在を知っていたら、今後多くの就業依頼があることを望むものです。

## 春秋高しといえボランティア

明科地区 堀内 國夫



前段 「あした何処か行く、行かないからシルバーのボランティアに行かない」そんな会話が聞かれそうなので、「何やってくる」「何やってくる」「何やってくる」

川沿いの土手の草刈りに取りかかる。つる草が伸びて絡まってくるので先にとる。そうしたら上から絡まっても何でも刈り払っていく。近づくのでやりかけだが危ねいで逃げるいや離れる。上下作業の禁止。安全就業のポイントだ！

10月12日(水)に、穂高会館に於いて実施されました。

昨年4月に耐震補強工事を終了し、立派にリニューアルオープンした穂高会館の建物の周囲の除草・剪定作業に、秋晴れの下、29名の会員の皆様が汗を流していただきました。施設の代表の方も大変喜んでくださいました。大変ご苦労様でした。

今、シルバー人材センターを取り巻く情勢は、高齢化の進む中で、各企業の定年の延長など、大変厳しく、会員の拡大・事業範囲の拡大等の取り組みが重要であります。更に、本年9月には、厚労省及び全国シルバー事業協会より『シルバー人材センターの適正就業ガイドライン』が示され、このガイドラインに沿った業務運営が厳しく求められることが当然予想されます。シルバーセンターの業務は、請負・委任が基本ですが、請負・委任に馴染まない就業は派遣に切り替えていくことが必要となります。このように私たちを取り巻く環境は厳しさを増す一方で、ボランティア活動もシルバー人材センターここにありの意気を示していただく良い機会でもあ

### 安全就業のためのチェック

※シルバー発行参照

- その二
- 排水路U字溝の土砂上げに加わる。先の上の方から二、三人でやっているの下からやる。はあるかやってねえのか積もってる。もうちよいで繋がるとやったら時間だで上がるとい。止めて片付ける。残った土砂は、溜まる雨水は：下からやっちゃ残っても元々？(いらんこっちゃ)
- だが、段取り、手順で仕事もきれいにはかいくってことも一考ならむか。
- 後段
- 剪定の道具大きいものつけてご苦労でした。きまりのついた人からお茶、おこひる頂いて帰る。秋のおくれを天気の日にはやらんと急ぐ人も。
- 行きも帰りも交通安全。言うまでもなく作業事故0だ！
- 終わりに
- 春秋高しといえども
- 老いたる馬は
- 道を忘れず
- と生きたい。

り、更に多くの方のご参加を期待してやみません。

終わりに会員の皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

## ボランティア活動に参加して



三郷地区 荒井 富久  
10月3日(月)シルバー人材センターのボランティア活動の一環として、三郷福祉センター構内及び周囲の草取りを行いました。日頃お

世話になっている地域社会への恩返しと感謝の意を含めたものであります。午前6時からという早い時間帯ではありましたが、三郷地区全会員157名中、38名の参加で駐車場周りの花壇の植え込みの中や通路の草取りと、吹き溜まった落葉の清掃を行いました。又、中庭は草刈り班により芝刈りを行いました。とてもきれいになりました。短時間ではありましたが、実のあるボランティア活動になったのではないかと思われず。このボランティア活動に関心と理解を深め、もっと多くの会員の参加を得ようと多くの施設などの活動が行え

## 安曇野シルバー人材センター 農作業報告

- 9月17日 シルバー米収穫
- 10月5日 第3回りんご作業講習会
- 10月11日 野沢菜収穫
- 11月1日 玉ねぎ機械植え
- 11月7日 玉ねぎ定植

## 平成28年度安全・適正就業推進大会開催

より一層の安全・適正就業対策に取り組むため、10月20日松本中央公民館において開催されました。



# 平成28年度安全・適正就業パトロール実施

## 長野

県シルバー人材センター連合会主催による安全・適正就業パトロールが7月29日実施されました。本年度は、特に通常の就業実態の点検を「安全・適正就業パトロール実施要綱」に基づき実施され、三郷地区の草刈り班、堀金地区の剪定班の現場の点検をおこないました。

安全推進員は、安全意識の確認、安全用具の点検、作業規律・動作等々を点検しました。

## 推進

委員の講評として、作業看板の設置、自動車置き場等安全に対する意識を持つように、また防暑対策への不足等が指摘されましたが、全体的には安全に就業されていることが確認されました。特に堀金の剪定班では、就業前に独自のミーティングマニュアルをチェックしながら、安全就業をおこなっていました。このように日頃から安全に対する意識を持つことが安全就業に繋がっています。各人が、それぞれの職域班が工夫しながら就業をお願いします。

## また

この日の午後は、安曇野シルバー人材センター安全・適正就業委員会主催の安全パトロールが、豊科の草取り、穂高の草刈り、明科の剪定のそれぞれの現場で実施されました。

## 今年

県下のシルバー人材センターで駐車場で草取りの就業中、死亡事故が発生しました。個人宅の草取りでも看板設置、また飛石防止のネットの活用、安全就業バッチの着用の徹底等の指摘がありました。

今後につきましては、指差しチェックの確認など今まで以上に安全就業に対する意識を持つことが求められています。

大変暑い中でのパトロールでありました。安全・適正就業委員の皆様さんお疲れ様でした。



恋の季節「メジロ」

### 配分金支払い証明書について

平成28年1年間（1月振込～12月振込まで）の配分金支払証明書を1月10日頃圧着ハガキでご自宅に郵送いたします。

### 配分金の振込日

- 1月分は2月20日（月）
- 2月分は3月17日（金）
- 3月分は4月20日（木）
- 4月分は5月19日（金）
- 5月分は6月20日（火）
- 6月分は7月20日（木）

### お悔やみ

浅川泰通様 平成28年9月12日  
ご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈りいたします。

### 編集後記

◆平成29年新春を迎え会員の皆様方には今年一年けがや、事故のないよう就業できることを祈念いたします。

◆昨年は全国各地で高齢者による交通事故が多数発生しました。車を運転するときには体調に気をつけて絶対事故を起こさないという気持ちで運転しましょう。

◆昨年10月ある地域で草刈り作業中通りがかりの人が2名で立ち寄り、「シルバーの皆さんに仕事ををお願いすると、丁寧に良い仕事をすると評判ですよ」と言われました。どこかで誰かが私たちの仕事を見ています。今後も手を抜かないように仕事をすることを心がけたいものです。

◆今後益々高齢化が進みシルバー人材センターの役割は重要になってくると思われれます。時代のニーズに合わせいまままで培ったノウハウを生かして対応することが必要になります。会員同士「元氣と和」をもって今年一年がんばりましょう。

嶋崎 紘次 小林 義明  
那須野 卯久